



世界的な視野をもち
人の痛みのわかる法律家に

佐々木さやか

創価大学法学部卒業

一九七一年の創立以来、司法試験会員格者一八六名、公認会計士試験合格者一八六名、教員採用試験合格者五七〇名を「資格」に強い大学として高い評価を受けている創価大学卒業生は、国内外もとより世界を舞台に活躍しています。

創価大学は二〇〇四年四月、法科大学院を開設。新司

七年度と国公立大学を含めた合格率でトップ10入りを続けた。現在、JR立川駅近くの希望法律事務所で弁護士として働く佐々木さやかさんは、そんな法科大学院の一期生だ。

「司法試験に合格できたのは、先生方や先輩たちのきめ細かな指導のおかげです」

司法試験など難関の国家試験に合格するには、一日一〇

一年、青森県のやまとやがわ市に生まれる。一九九九年、創価大学法学部法律学科入学。二〇〇三年、大卒。二〇〇四年、同大法科大学院に入学。二〇〇六年、同大学院卒業、新司法試験合格。二〇〇七年、弁護士登録。二〇〇八年、より名望法律事務所で弁護士業務を開始。

に試験対策の講義やセミを開講しているが、合格間もない先輩がマン・ツー・マンで指導するのも伝統だ。

これでいいのか、合格できるのか、不安になってしまつたことがよくありました。すると決まって、先輩が電話をくれて話を聞いてくれるなりました。それで、ここでじけるわけにはいかないと思いまして」佐々木さんは、歴史と漁業の町、青森県八戸市に生まれた。高校時代は法曹の世界に

弁護士3年目を迎えた佐々木さん



留学がしてみたいと思つてはいた。それなら様な大学がいいとすら思つた。その頃イギリスのグラスゴー大学で語学研究を行つていた佐々木さんの娘だった。そして、入学後の夏、カナダのカーネギーラルトン大学に一ヶ月の語学研修に、初めて海外に行つた。

「相談に来られた方の表情が、次第に明るくなっていくのを見ると、弁護士になつて良かつたのだと思ひます。もつともつと自分に力をつけて、この法律事務所のようすで、問題を抱えて困っている方に『希望』をもつてもらつてやるがんばりたいと思ひます」

「相談に来られた方の表情が、次第に明るくなっていくのを見ると、弁護士になつて良かつたのだと思ひます。もつともつと自分に力をつけて、この法律事務所のようすで、問題を抱えて困っている方に『希望』をもつてもらつてやるがんばりたいと思ひます」

学生のための大学
創価大学
創価女子短期大学

